

一般質問では、災害対策について質問を行いました

流域治水について



激甚化する自然災害、特に雨水対策は市町村単位の対策も大事ですが自治体の連携や県と県との連携が求められています。

国や流域自治体、企業、住民など、あらゆる関係者が協働して取り組む**流域治水の実効性**を高めるために、どのような連携推進しているのか。



取手市は、3つの河川事務所の流域治水協議会に属しており、その中でハード面、ソフト面での取組、取組の状況を基に流域プロジェクト位置図の作成をするほか、短期から中期までの対策や取組、目標を掲げたロードマップの作成をしている。

貯水機能としての田んぼダムについて



取手市、特に藤代地区は住宅地のまわりに水田が非常に多い地域です。

田んぼダムやIoTを取り入れて内水害対策をしている自治体があり効果的だと思うが、田んぼダムの取組をどう考えているか。



田んぼダムは水をためるため、稲の生育を危惧する耕作者の理解や、協力を得られるのか、また、広範囲の田んぼで実施することで効果が得られる方策であることから、課題も多い。今後、田んぼダムの実現性については取り組んでいる自治体や先進地の取組状況を注視し、今後、調査研究したい。

調整池の重要性と進捗状況について

旧吉田保育所跡地の利用計画について



旧吉田保育所跡地が排水対策課に移管されて1年以上たったが、**雨水整備計画**などはどうなっているのか。



旧吉田保育所跡地は、井野雨水幹線の最下流に位置する。将来調整池として有効な活用が図られる可能性があり、維持管理している。取手地方広域下水道組合の雨水整備計画等と整合性を図りつつ、実効性のある雨水排水施設整備の可能性について、下水道組合と協議・検討を続けていく。

利根川稲戸井調整池



3年前の台風19号の利根川増水時に、堤防ぎりぎりのところで大事に至らずに済んだのは、利根川の4カ所の調整池で過去最大となる約2.5億立方の洪水を貯留し、洪水被害防止に貢献したと言われています。

稲戸井調節池は国により整備途中だが、その進捗状況について。



令和4年3月末の時点で、掘削工事を行っている進捗状況が約32%程度となっている。早く整備促進をしてほしいと、国への要望活動等は守谷市と一緒にやっている。

これはぜひとも国に、両自治体から積極的に働きかけてもらいたいと思います。

コラム



三年ぶりに開催された花火大会。8月13日の予定でしたが台風の影響で14日延期されて開催されました。この日は天気も良く久しぶりの花火大会をたくさんの方が楽しんでいました。翌日は市民ボランティアの方々と早朝のごみ拾いを行いました。延期されたのでボランティア参加の方が少ないのではないかと感じていましたが大勢の皆さんに集まっていただき、あっという間にきれいになっていきました。ありがとうございました。



経歴

地元生まれ 地元育ち!

- 昭和32年10月 取手生まれ
- 取手市立白山小学校 卒業
- 取手市立取手第二中学校 卒業(剣道部所属)

- 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 卒業
- 東京農業大学 農学部醸造学科 卒業

結城しげる プロフィール

- 取手市議会議員(416年2月~)
- 結城醤油 専務取締役
- 三和産業(株) 取締役
- 元取手市消防団 第一分団員

- 取手市商工会 理事
- 取手西口イルミネーション実行委員長(平成8年~)

趣味

- 詩吟、読書、音楽鑑賞、サイクリング



みなさんの声をお寄せください!

☎ 0297-72-0100

✉ toride-info@toride.jp

<https://www.toride.jp>

ブログ:<https://www.toride.jp/blog/>

@toride_yuki

facebook.com/shigeru.yuki.3